

## ◎ 保管式加熱本復旧合材「ゴールドパッチ」

登録番号：QS-200049-A

# 道路舗装の本復旧工事にも対応できる 常温保管・現場加熱型のアスファルト合材

現場で加熱して使用するアスファルト合材を紹介する。道路標識や各種埋設管などの小規模工事の復旧舗装用として開発した。袋詰め状態で1年以上も常温保管できるので、既往の加熱合材のように製造プラントから逐一現場に搬送する必要がない。必要な分量だけを持ち込んで敷設できるので、材料ロスの削減（産業廃棄物の削減）も見込める。緊急の夜間工事などにも容易に対応可能。

アスファルト舗装の道路は、コンクリート舗装の道路よりも安価に短期間で敷設できて車両の走り心地は良好。埋設管の工事などの際に、比較的容易に“切り貼り”できることも特徴である。小規模ならば、既存舗装の撤去→掘削→埋設管などの設置→埋め戻し→舗装（仮復旧）という一連の工程を、1夜で完了して交通開放できる。アスファルト舗装は、せわしない日本の工事環境と交通事情、埋設管の状況などに、とても適した技術なのである。

舗装に使用するアスファルト合材は、製造プラントから工事現場まで高温の状態で搬送し、冷えてしまう前に敷設する（加熱合材の場合）。使い切れずに固化した合材は産業廃棄物として処分しなければならないが、100kg程度の小ロットでは購入できないこと——すなわち小規模工事で合理的に活用できないこと

が、加熱合材の基本課題である。突発的な夜間の工事などで調達に苦労するケースもあるだろう。常温で保管・施工できる常温合材の開発が進み、小規模工事などで盛んに使われているが、硬化速度や強度などで加熱合材に及ばず、仮復旧での活用がメインとなっている。

### 加熱合材を加工・冷却して袋詰め

「ゴールドパッチ」は、常温保管・現場加熱型のアスファルト合材である。加熱合材を独自の技術で加工・冷却し、袋詰めして提供している（20kg/袋）。袋詰め状態で1年以上の在庫保管が可能。そのため、緊急工事などの際にも製造プラントとの連携（運搬工程の調整）を必要とせず、在庫から必要な分量だけを人力で現場に持ち込んで施工できる。大型重機も必要としない。加熱

合材では必須だった現場搬入時の温度管理が不要になること、余った合材を産業廃棄物として処理する手間とコストを減らせることを含め、



マンホール工事での使用例（仮復旧）。交通開放直後から強度を発現して飛散しないので、本復旧までに相応の猶予期間がある場合でも良好な路面状態を維持できる。施工ムラを生じにくく、鉄やコンクリートとの馴染みも良好



水道管工事後の再舗装（本復旧）に「ゴールドパッチ」を使用した。プラント加熱合材を使用する既往のアスファルト舗装と比較しても遜色のない仕上がりとなっている

従来技術（プラント加熱合材の使用）に対して3割以上の経済性の向上を見込める。強度の発現も素早い。

施工手順は、以下の通り。①準備：施工面を清掃し、専用プライマーを塗布する、②加熱・混練：合材を袋から一輪運搬車などに移し、全体に熱が行き渡るようにスコップなどでかき混ぜながら、合材が120℃以上の高温になるまでバーナーであぶる（白い煙が出る程度までが目安）、③転圧：プレートコンパクターで転圧する、④完了：50℃程度まで冷めれば交通開放可能。1袋当たりの施工量の目安は、0.01㎡（50×50×厚さ4cm）程度である。標識工事や各種ライフライン工事（水道、下水道、ガスなど）の本復旧材料として、あるいはポットホールの補修材料などとして活用できる（歩道の場合。車道は仮復旧とする）。

お問い合わせ

### 株式会社SANOU TEC 技術開発部

〒861-8043 熊本市東区戸島西5-5-57  
TEL. 096-234-8320 FAX. 096-234-8321  
URL <http://www.sanoutec.jp>  
E-mail [goldenchild@sanoupatch.com](mailto:goldenchild@sanoupatch.com)